

平成 30 年度  
自己点検・評価報告書



2019年5月

学校法人京都中央学院  
〈専〉 Y I C 京都工科自動車大学校

## まえがき

本校は、平成19年に YIC グループの一員として「京都中央工科専門学校」としてスタートしました。現在は、〈専〉YIC 京都工科自動車大学校として、4年制の一級自動車整備科、2年制の自動車整備科、二輪自動車整備科および平成29年度より新設の3年制国際自動車整備科の4学科に学科を改編し、専門的な技術教育だけでなく人間教育にも力を注ぎ、時代の要請に応え、即戦力として活躍できるスペシャリストを地域社会に送り出しております。

一方、専門学校を取り巻く環境の変化は、18歳人口の減少、雇用の減少等、一層厳しさを増してきました。専門学校に対しては教育の質保証やグローバル化等、常に第三者との関わりの中での急速な変化を求められており、職業実践的な教育機関として、一層の自助努力と自己革新の必要に迫られています。

本校では、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行う学校として、文部科学大臣より「職業実践専門課程」として認定（国際自動車整備科を除く）されております。よりよい教育を行うため、従来より自己点検・評価を実施してまいりましたが、併せて、企業様、関係学協会、および本校関係者による「学校関係者評価委員会」「教育課程編成委員会」にてご意見をいただきました。

これら教育研究活動のうち自動車整備系4学科についてその全容を広く学外に公表することにより、本校の構成員のみならず関係企業様、関係学協会、卒業生、あるいは第三者的立場の方々からご意見をいただき、改善に自ら責任を持って実施したいと考えております。皆様方のご意見・ご要望などいただければ幸いです。

2019年6月  
学校法人京都中央学院  
〈専〉YIC 京都工科大学校  
校長 杉山 征人

# 平成30年度 〈専〉YIC京都工科自動車大学校 自己点検・評価結果

実施日：平成30年4月1日～平成31年3月31日

学校名：〈専〉YIC京都工科自動車大学校

## 1. 学校の教育目標

1. 専門知識と技術を習得し、自己研鑽に励む人材を育成する。
2. 社会の変化に対応できる人材を育成する。
3. 慈愛の心を持ち、他職種とも協調できる人材を育成する。
4. 利他の精神で、地域の発展・向上に貢献できる人材を育成する。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### (1) 教育の質の保証

- ・指導内容を統一し、入学から卒業までを一貫した教育とする。
- ・目的と目標の明確化し、学生と教職員が共通の目的に向い目標立てて進んでいく。
- ・また、学生一人一人の個性を尊重し、学生の夢の実現を教員の目的とする。
- ・企業との連携を強め、社会のニーズの把握・収集に努める。

### (2) 入学定員の充足

- ・オープンキャンパス等への参加者の一人一人の思いをしっかりと受け止め、不安の解消に努める。
- ・社会のニーズを把握し、社会に貢献出来る学生を育てる事により高校生からも選んで頂く。
- ・最初に対応した教員が入学まで責任を持って対応する。

### (3) 退学者3%以下

- ・担任を中心としたクラス運営を行い、学生一人一人の状況を的確に把握する。
- ・保護者と連絡を密に取り、学校と家庭が連携した指導を行う。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
1	1 理念・目的・育人人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1	学生便覧、学校案内	4.2
1	2 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	④ 3 2 1	自動車整備関係企業連絡懇談会アンケート 職業実践専門課程委員会の議事録 合同企業説明会アンケート オープンキャンパス参加者アンケート	3.1.1
1	3 各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界の ニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1	学生便覧 学校関係者評価委員会議事録 教育課程編成委員会議事録	3.1.2 e)
1	4 学校における職業教育の特色は明確になっているか	④ 3 2 1	学校案内(パンフレット) 学校ホームページ	3.1.3 a)
1	5 理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	④ 3 2 1	学生便覧 オープンキャンパス保護者説明会資料 入学前新入生保護者説明会資料	3.3.1 a)

### ① 課題

1-5に於いては、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを明確に表示する必要がある。

### ② 今後の改善方策

次年度は学生便覧に3つのポリシーを明記する。

### ③ 特記事項

2 学校運営		適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
2	1 専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	④ 3 2 1	学則、学校設置認可申請書	4.1 x)
2	2 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1	校務分掌 組織図 就業規則	4.1
2	3 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1	財務報告関係(HP開示資料) 起案書・審議資料作成ガイドライン 部門ミーティング議事録 経営会議資料一式 学校計画	4.1
2	4 目的等に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1	学校計画 事業計画書	4.2
2	5 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1	学生便覧 学校計画	4.2
2	6 人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1	組織図 給与規定 出張旅費支給規程 昇格運用規定	4.1
2	7 専任教員は適正に配置されているか	④ 3 2 1	時間割一覧表	4.6.1 4.6.2 e)
2	8 専任教員の講義・実習負担は妥当であるか	④ 3 2 1	時間割一覧表	4.6.1 4.6.2 e)
2	9 教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	④ 3 2 1	非常勤講師会実施要項 授業アンケートフィードバック面談 授業参観記録	4.7
2	10 業界や地域社会等からの意見の収集・分析・応答の仕組みができて いるか(苦情及び要請への対応を含む)	④ 3 2 1	教育課程編成委員会議事録 クレーム処理手順及びクレーム報告書 グループウェア教室予約状況に関するメモ 貸し教室・貸し会議室利用アンケート	4.10
2	11 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1	HP上の「情報公開」ページ	3.3.1 x)
2	12 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1	グループウェア内のメニュー画面(業務効率化) 各種証明書発行までの流れ(フロー) s-Wing入力画面 高校情報記録 オープンキャンパスお申込確認一覧 グループウェア企業記録画面	4.7 x)
2	13 教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、 妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施して いるか	④ 3 2 1	理事会議事録 経営会議議事録 部門ミーティング議事録 学校計画	4.3
2	14 学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応 など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を 確立しているか	④ 3 2 1	経営計画書(クレームについて) クレーム処理手順	4.4
2	15 学生及び保護者等が不満を抱いている場合や、学校側と意見の 相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	④ 3 2 1	ホットライン電話及びメール(学生便覧記載)	3.3.1 d)

① 課題

2-9に於いては、計画的な授業参観(授業見学)を行い、教職員及び非常勤講師との共有をして「授業の質の改善」を行う必要がある。

② 今後の改善方策

次年度は、5月及び10月を『授業見学月間』として実施する。

③ 特記事項

3 教育活動		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)		要求事項		
3	1	④	3	2	1	学生便覧 シラバス	3.1.3 c) 3.3.1 b)
3	2	④	3	2	1	学生便覧 シラバス 時間割一覧表	3.2.3 b)
3	3	④	3	2	1	自動車整備士養成施設の指定等の基準 学生便覧 カリキュラム一覧	3.2.3 b)
3	4	④	3	2	1	自動車整備士養成施設の指定等の基準 学生便覧 カリキュラム一覧	3.2.3 b)
3	5	④	3	2	1	リメディアル教育の取組 リメディアル教育進捗状況確認資料 AO入試グループガイダンス実施 授業アンケート	3.1.3 b)
3	6	④	3	2	1	教育課程編成委員会議事録 キャリア教育の授業実施	3.1.3 d) 3.2.3 b)
3	7	④	3	2	1	学校関係者評価委員会議事録 教育課程編成委員会議事録	3.2.1
3	8	④	3	2		学生便覧 カリキュラム一覧 シラバス	3.2.3 a)
3	9	④	3	2	1	自動車整備士養成施設の指定等の基準 学生便覧 カリキュラム一覧	3.2.2
3	10	④	3	2		シラバス	3.2.3 a)
3	11	④	3	2	1	カリキュラム一覧 実務体験実習(インターンシップ)に関する打合せ事項 職業教育協定書(事業委託契約書)	3.2.3 c)
3	12	④	3	2		シラバス配布 カリキュラム一覧 HP上の公開画面	3.3.1 a) 3.3.1 f)
3	13	④	3	2	1	シラバス カリキュラム一覧	3.2.3 b)
3	14		③	2	1	学校関係者評価委員会議事録 教育課程編成委員会議事録 連携授業に関する打ち合わせ	3.2.2
3	15		③	2	1	学生便覧 シラバス 新入生保護者説明会	3.5.1 b)
3	16	④	3	2		実務体験実習(インターンシップ)に関する打合せ事項 インターンシップに関する覚書	3.2.3 c)
3	17	④	3	2	1	学校関係者評価委員会議事録	3.5.1 c)
3	18	④	3	2	1	グループウェアログイン画面 プライバシーポリシー グループウェア権限設定	3.5.2 a)

① 課題

3-8に於いては、さらに到達目標及び評価基準等を明確に記載する必要がある。

② 今後の改善方策

次年度は、新シラバス表を活用して明確に表記する。

③ 特記事項

4 学修成果		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
4	1	④ 3 2 1	シラバス 学生便覧	3.5.1 x)
4	2	③ 2 1	キャリアより就職希望調査票 内定者数一覧 合同企業説明会実施要項	3.5.3 c)
4	3	④ 3 2	合格率を示す学生受験合格リスト 能力別国家資格対策授業実施	3.5.3 c)
4	4	④ 3 2	QUを年2回実施 経営会議等で毎月の退学率の情報提供 進級判定資料(成績一覧)	3.5.3 c)
4	5	③ 2 1	卒業生動向調査 「専門課程就職先一覧(卒業生動向)最新版」 卒業生の情報を企業情報データで把握	3.2.2
4	6	④ 3 2 1	学校計画 事業計画 経営会議議事録	3.5.1 a)
4	7	④ 3 2 1	教育課程編成委員会議事録 自己申告シート 職務目標・能力申告表	3.5.1 b)
4	8	④ 3 2 1	成績証明書	3.5.2 a)
4	9	④ 3 2 1	学校計画 事業報告書(理事会資料)	3.5.3 c)
4	10	④ 3 2 1	学生便覧 シラバス 職業訓練認定書類	3.1.2 b)
4	11	④ 3 2 1	学校関係者評価委員会議事録 HP キャリアマップのご案内画面 グループウェア企業記録画面	4.4

① 課題

4-5に於いては、業生の動向をさらに把握できるような体制作りを業界・企業と進めていく必要がある。

② 今後の改善方策

企業連携懇談会を通して、さらに業界・企業との連携を含め卒業生の動向を把握する。

③ 特記事項

5 学生支援		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)		要求事項		
5	1	③	2	1	学生便覧	3.1.2 c)	
5	2	③	2	1	学生便覧 カウンセリング予約について カウンセリング報告書	3.1.2 c)	
5	3	④	3	2	学生・保護者の面談記録	3.1.2 e)	
5	4	④	3	2	1	学生募集要項(年齢制限はない) 専門実践教育給付金対象学科	3.1.3 c)
5	5	④	3	2	1	学校案内(パンフレット)	3.2.2
5	6	④	3	2	1	学生便覧 なんでも相談室 カウンセリング予約について	3.3.1 e)
5	7	④	3	2	1	学生支援からのお知らせ 在校生対象特待奨学生選抜試験実施要項 経済的支援制度(入学時)	3.3.1 x)
5	8	④	3	2	1	校務分掌 健康診断実施要項	3.5.2 b)
5	9	④	3	2	1	リメディアルの教材 リメディアル教育進捗状況確認資料 リメディアル教育学生進捗状況画面	3.5.2 b)
5	10	④	3	2	1	クラブ活動規約 同好会規定	3.3.1 x)
5	11	④	3	2	1	総合下宿業務提携に関する覚書 ひとり暮らしサポート制度申込み書	3.3.1 x)
5	12	4	3	②	1	現在は取組みをしていない	3.3.1 x)

① 課題

5-9に於いては、入学前のリメディアル教育だけでなく、入学後の学力向上に関しての力を入れていく必要がある。  
5-12に於いては、現在は高等学校のキャリア教育(ガイダンス:職業別理解)等を除いては連携授業等は実施していない。

② 今後の改善方策

教務と学生支援が連携しながら、また教務も各学校の横断的な考え方で取組みが出来るようにする。  
高校側への直接的なアプローチを行いニーズに合わせて対応する。

③ 特記事項

6 教育環境		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)		要求事項		
6	1	③	2	1	学校平面図 学則変更届	3.3.3 4.8	
6	2	④	3	2	備品一覧	3.3.3	
6	3	④	3	2	学校平面図 教室・実習室一覧	3.3.2 a), c)	
6	4	④	3	2	1	学校平面図 教室・実習室一覧	3.3.3
6	5	④	3	2	時間割一覧表 学校平面図 パソコン実習室備品一覧	3.3.3	
6	6	④	3	2	1	機械設備一覧表 実習用教材一覧表 備品一覧表 教材一覧表 電球・蛍光灯等管理簿 昇降機の定期検査報告書 貯水槽・清掃点検・仕様基準 エレベータ点検報告書 (OTID)	3.3.2 a)
6	7	④	3	2	1	時間割一覧表 学校平面図 グループウェア教室予約状況	3.3.2 c) 4.8
6	8	④	3	2	1	教職員研修計画 職業実践専門課程情報公開資料 消防(避難)訓練実施要項 自衛消防訓練通知書 道路使用許可申請書 グループウェア、訓練実施アンケート	3.3.2 b)
6	9	④	3	2	1	消防計画 防災規程 危機管理規定 自営消防組織表 消防用設備等点検結果報告書	4.5 b)
6	10	④	3	2	1	機械設備一覧表 実習用教材一覧表 備品一覧表 教材一覧表 電球・蛍光灯等管理簿 昇降機の定期検査報告書 貯水槽・清掃点検・仕様基準 エレベータ点検報告書 (OTID)	4.8
6	11	④	3	2	1	実務体験実習(インターンシップ)に関する打合せ事項 インターンシップに関する覚書	3.3.1 a), b), f)
6	12	4	③	2	1	海外研修旅行説明会資料 旅のしおり(海外研修) イタリア通信	3.3.3

① 課題

6-5に於いては、今後はICTを活用した授業の取組みが出来るようにする必要がある。  
6-12に於いて海外研修への興味を持たせる、または持続させる事。

② 今後の改善方策

インターネットの環境等を見直して対応できるようにする。  
イタリア通信(毎月)を参加・不参加を問わず、全員に配布しイタリアの文化や簡単な会話を学べる機会を提供。

③ 特記事項

工科に在籍している学生の場合、金銭的な理由により参加出来ない者が大半を占めている。逆に参加している学生は4年制(一級自動車整備科)の学生である事から一級自動車整備科の学生は1年次から積立を行い4年次に全員参加の海外研修を実施出来ないかを考察中。

7 学生の受入れ募集		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)		要求事項		
7	1	④	3	2	1	期限を決めて誓約書を取り交わしている	3.1.2 f)
7	2	④	3	2	1	入学志願書の保管	3.1.2 a)
7	3	④	3	2	1	学生募集要項	3.3.1 g)
7	4	④	3	2	1	学生募集要項	3.3.1
7	5	④	3	2	1	学校案内 学校ホームページ	3.1.2 e)
7	6	④	3	2	1	学生便覧	3.3.1 a)
7	7	④	3	2	1	WCAGのHPを参照 <a href="https://waic.jp/docs/WCAG20/Overview.html">https://waic.jp/docs/WCAG20/Overview.html</a> 言語、文化、読み書き能力に関するニーズや障がいや LGBT等の性的少数者に関する特別なニーズについて (内規)	3.1.2 d)
7	8	④	3	2	1	学生便覧 プライバシーポリシー	3.3.1 c)
7	9	④	3	2	1	学校関係者評価委員会議事録	3.3.1 x)

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

③ 特記事項

8 教育の内部質保証システム			適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
8	1	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4 ③ 2 1	授業アンケート	3.4 3.5.1 d)e)
8	2	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容やカリキュラムを評価しているかまたその評価方法、手段、スケジュールはどのようであるか)	④ 3 2	授業アンケート 授業参観 経営計画書	3.5.3 a) 3.5.3 b)
8	3	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	④ 3 2 1	授業アンケート QUアンケート 授業参観	3.5.3 d)
8	4	教員及び職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか	④ 3 2 1	自己申告シート 職務目標・能力申告表	4.6.1
8	5	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	④ 3 2 1	コンピテンシーシート 職務グレード評価	4.6.2 a), b),e)
8	6	教職員の仕事に対する意欲や満足度について聞き取りを行っているか	④ 3 2 1	自己申告シート 職務目標・能力申告表	4.6.2 c)
8	7	専門分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	④ 3 2	専門分野教員研修会参加 新任教員研修資料 出張許可申請書	4.6.2 d)
8	8	業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1	職業教育協定書(事業委託契約書)	4.6.2 x)
8	9	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1	プライバシーポリシー 個人情報の保護等に関する規程	4.1
8	10	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1	学校関係者評価委員会議事録	4.6.2 f)
8	11	文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	④ 3 2 1	文書管理規定 文書管理簿	4.1
8	12	内部監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	④ 3 2 1	内部監査計画	4.9 a)~c)
8	13	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	④ 3 2 1	改善要望報告書	4.9 d)
8	14	内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	④ 3 2 1	改善要望実施報告書	4.9 e)
8	15	自己点検・評価結果を公開しているか	④ 3 2 1	自己点検・評価結果	4.9 x)

① 課題

8-11に於いては、各授業毎のアンケートを実施しており、担当教員にはフィードバックしているが改善を行わない教員に対するの対応策が明確でない。  
8-3に於いては、教員のスキルUPをさらに高める取組が必要

② 今後の改善方策

途中経過を踏まえ、担当教員と複数回面談を実施。改善が見られない場合は担当の入替えを行う。  
積極的に研修参加を促し、自己スキルUPの為の自己研鑽を意識して取り組みさせる。

③ 特記事項

9 財務			適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1	監査報告書一式(経理)	4.5 a)
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1	資金収支計算書他	4.5 a)
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1	財務分析書	4.5 a) x
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1	消費収支予算内訳表	4.5 a) x

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

10 社会貢献・地域貢献			適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1	職業実践教育給付金講座決定通知書 基本奨励金支給決定通知書 認定職業訓練実施基本奨励金支給申請書	
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1	オープンキャンパス学生スタッフ取組み 京都市みやこ土曜塾での学生による参加児童対応 一級自動車整備科校外清掃	
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1	求職者支援法に基づく職業訓練の認定通知	

① 課題

10-2に於いて、ボランティア活動はどの程度の範囲を示すのかの明確化が必要。

② 今後の改善方策

ボランティア活動に関しての取組む意識と姿勢を育てる指導を行う。

③ 特記事項

ボランティア活動を通して、地域貢献だけでなく学生の成長にも繋げていく事が重要。(やらされている感覚ではボランティア活動実施の意味はない)

11 国際交流(必要に応じて)			適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は文書番号)	要求事項
11	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	④ 3 2 1	留学生学生募集要項 日本語学校学生募集要項	
11	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④ 3 2 1	留学生学生募集要項 在留資格取次申請者籍 留学生帰国前チェックリスト	
11	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	④ 3 2 1	留学生学生募集要項 下宿案内資料 留学生生活指導文書	
11	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	④ 3 2 1	内部監査計画書	

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

③ 特記事項